

つくば生物ジャーナルのオンライン刊行について

安部七恵¹、丸尾文昭²

¹筑波大学生命・情報等教育研究支援室（生物学類）、²筑波大学生物科学系
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

概要

昨年度、生物学類では全国の大学に先駆けて、大学の学科レベルでは他に例を見ない、月刊誌「つくば生物ジャーナル」³を生物学類ホームページ上に創刊しました。

今年度は、生物学類の卒業生、退官教官、在学生、生物学類教職員の論文の掲載のみに留まらず、生物学類の諸行事や生物学類の活動をまとめ、特集として掲載しました。そして「つくば生物ジャーナル」を中核とした、生物学類独自の総合的な教育支援活動の展開を試みました。

1. はじめに

国立大学の独立法人化が、平成16年4月から施行されることとなり、大学は国民や社会の要請を先取りし、迅速に対応できるよう、積極的に教育や研究の改革に取り組まなくてはなりません。その取り組みへの大きな一歩として「つくば生物ジャーナル」は生まれました。

「つくば生物ジャーナル」は、生物学や生物学類に関心を寄せてくださる様々な方々の研究や意見の発表の場そして意見の交換や議論の場となり、さらには生物学類の知的財産を広く社会に還元する場としての活動拠点です。

2. 特集の企画

平成14年9月の創刊当初は、生物学類の卒業生の方や退官教官の方々からの投稿が多くあり、月当たりの掲載本数も充実したものでした。つくば生物ジャーナル編集委員会の委員を中心に、周囲の方々へ原稿の執筆依頼を積極的に働きかけ、原稿を寄せてくださるのを待っておりました。しかしこれでは、月により投稿数に偏りがあり掲載される本数にも影響してしまいました。

そこで、今年度は投稿してくださるのを待つという受身的な状態ではなく、生物学類の諸行事や生物学類の活動等をまとめ、特集として、つくば生物ジャーナルに掲載することを企画しました。

生物学類の行事及び活動としての特集は、

- ・入学
- ・大学説明会
- ・生物学類授業担当教官の研究紹介
- ・ホームカミングデイ
- ・生物学類国際交流
- ・生物学類クラス連絡会

- ・生物学類シラバス
 - ・卒業研究発表会要旨集
 - ・卒業、退官
- などです。

3. 授業内容と教官研究内容の公開

今年は特に、生物学類授業担当教官の研究紹介と生物学類シラバスの掲載に、積極的に取り組みました。教官の研究内容と生物学類の授業科目の内容を明確に提示することにより、入学後の学生が、早い時期に自身の進路を決め目標を持つことができます。

また、生物学類のホームページには、E-mailでの問い合わせのコーナーが設けてあります。主な問い合わせの内容は、将来このような研究をしたいと思いますが、筑波大学生物学類ではその研究ができますか。将来このような職業に就きたいのですが生物学類卒業後その職業に就くことはできますか。〇〇先生の講義内容や研究内容を教えてください。などで、生物学や生物学類に興味を持つ高校生や他大学の学生からの質問が、多く寄せられてきます。このような疑問を持つ学外の方々が、筑波大学生物学類の教育の特色や研究内容を知ることができるようにと、教官の研究紹介とシラバスの掲載に力を注ぎました。

4. 生物学類授業評価の全面公開

平成16年の5月号には、生物学類授業評価についての特集を企画しています。生物学類では、平成15年6月から全学に先駆けてTWINS(Tsukuba Web-based Information Network System)を用いた生物学類生による授業評価を導入しました。

生物学類では、TWINS以前からも授業評価を実施しており、大学入学までもない1年生の必修科目である生物学諸分野の概論12科目（現在概論は8科目）の授業評価を行っていました。授業の最終日に、学生が回答したアンケート用紙を回収し、その1枚1枚を手作業で集計し、改善点などの意見も手入力していました。このアンケートの結果が、そのまま教官の授業評価となるので、厳正かつ慎重に行わなければならない、時間のかかる気の抜けない作業でした。TWINSを用いた授業評価は、この労力を軽減し、さらに概論科目だけではなく、生物学類開設の全授業科目にまで網羅することができました。

生物学類が独自に行ったTWINSを用いた授業評価では56%の回答率を得ることができました。この高い回答率と学生の建設的な授業への意見を受けて、

¹ Tel: 029-853-4879

² Tel: 029-853-6669

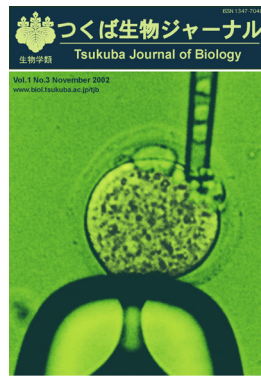
³ <http://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb/>



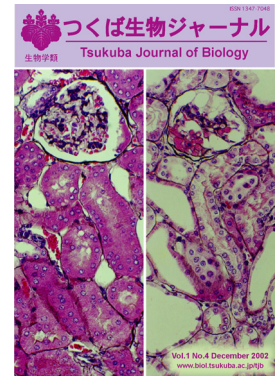
2002年9月号(創刊号)



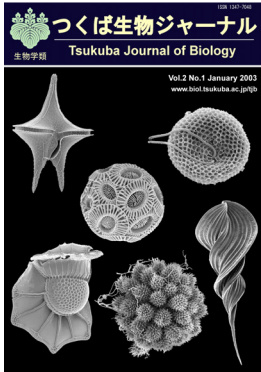
2002年10月号



2002年11月号



2002年12月号



2003年1月号



2003年2月号



2003年3月号



2003年4月号



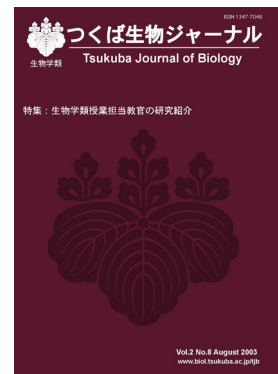
2003年5月号



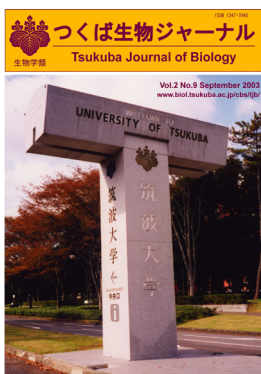
2003年6月号



2003年7月号



2003年8月号



2003年9月号

図1. つくば生物ジャーナル創刊号からの表紙の変遷

つくば生物ジャーナルへの掲載を決めました。

5. 生物学類 OB からの投稿

卒業生や退官教官からの投稿も充実しています。今年度は、口頭の依頼のみではなく、文書による原

稿執筆のお願い(図2)を作成しました。執筆していただきたい原稿の内容や、原稿の締め切りなどを明記しホームcomingデー等の行事を活用し、積極的に原稿を募りました。

平成15年9月号10月号11月号では国立大学の独立法人化についての特集を企画し、卒業生や退官教官から貴重な意見を投稿していただきました。特集以外にも、社会の様々な方面で活躍している卒業生の方々より、それぞれの視点から生物学や生物学類への考えのみならず、人生そのものの生き方・考え方なども寄せられており、生物学に関心ない方でも、十分に楽しんでいただける内容あるものとなっています。

様
つくば生物ジャーナル編集委員会委員長 筑波大学 生物学類長 林 純一
「つくば生物ジャーナル」原稿執筆のお願い
筑波大学生物学類発行の月刊オンラインジャーナル「つくば生物ジャーナル」に以下のように原稿を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。なお、投稿の手引きを添付いたしますが、不明の点は何なりと編集事務局にお問い合わせください。
原稿の内容：
原稿の字数： 本文に文字だけで4,700字まで入ります。(見開き2ページで構成しますので、写真、図表のスペースの分だけ入る文字数が減ります。初稿では厳密に文字数あわせていただく必要はありません。)
締め切り： 年 月 日
原稿送付先： e-mail: tjb@biol.tsukuba.ac.jp (または、つくば生物ジャーナル編集委員会宛郵送)
つくば生物ジャーナル編集委員会/編集事務局 e-mail: tjb@biol.tsukuba.ac.jp 〒305-8572 つくば市天王台 筑波大学生物学類 TEL:029-853-4553 FAX:029-853-6300 http://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb/

図2. つくば生物ジャーナルの原稿執筆依頼書

6. 学外の方からの投稿

「つくば生物ジャーナル」は、誰でも自由に生物学類ホームページから閲覧でき、そして誰でも自らの意見をジャーナルに投稿することができます。原稿は、論文審査の上、オンラインジャーナルに掲載され、さらに採択された投稿者には、知的所有権が与えられるという、自由と公共性に富んだシステムとなっています。

今までは、生物学類OB・在学生・教職員からの投稿のみでしたが、今年は、全くの外部の方からの投稿も寄せられ、「つくば生物ジャーナル」が広く社会に受け入れられ浸透しつつあることを実感できました。

7. おわりに

今後さらに、「つくば生物ジャーナル」を活用し、筑波大学以前よりの長き伝統に育まれた生物学類の知的財産を広く社会に還元し、生物学類の教育支援活動をより一層充実していきたいと思ひます。